

Well-being

エムティーアイ健康白書

Report 2020

エムティーアイ 健康経営宣言

エムティーアイは、
お客様の健康をサポートし、
「生のとも」となるサービスを
お届けする企業として、
まずは自らの健康維持・増進が
重要であると考え、
これに積極的に
取り組んでいきます。



健康経営に対する 主な取り組み

エムティーアイは、創業以来「すべては“お客様の感動”を実現するため」という想いのもとに様々なモバイルコンテンツをお届けしてきました。

近年は、女性の健康情報サービス『ルナルナ』や日々の健康データを記録・管理できる『CARADA』をはじめとしたサービスを通じて、お客様の健康をより便利に簡単にサポートするヘルスケアサービスに注力しています。人々の健康をサポートする企業として、従業員の健康の維持・増進施策にも積極的に取り組んでいきます。

▶ 目指すべき健康経営の姿

従業員のQOL(生活の質)の向上、あるべき国民医療費の実現。



業績向上
企業価値向上



従業員の
活力向上



組織の活性化
生産性の向上



従業員への
健康投資

企業理念

(長期的なビジョンに基づいた経営)

▶ エムティーアイ健康経営宣言

ヘルスケアサービスを扱う企業として、活力や生産性の向上を目指すためだけでなく、従業員の一人ひとりが自ら高い健康意識を持ち、心身ともに健やかにいきいきと活躍できる環境で働くことが、お客様により喜んでいただけるサービスの発展につながるものと考えています。

そのためにエムティーアイでは、健康維持・増進を重要な経営課題と位置づけ、これを推進するための組織体制を構築し、様々な取り組みをおこなっていきます。

代表取締役社長 前多 俊宏

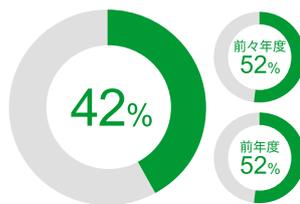


▶ 数字で見るエムティーアイの健康経営



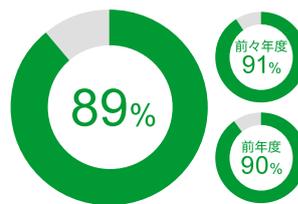
定期健康診断受診率

※新型コロナウイルスの感染流行で受診できなかった人数を考慮して計算

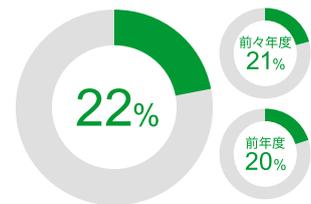


二次健診受診率

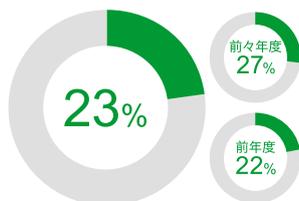
※新型コロナウイルスの感染流行で受診できなかった人数を考慮せずに計算



ストレスチェック受検率



肥満率



運動習慣者比率



月間所定外労働時間

※全国平均47時間を100%とした割合

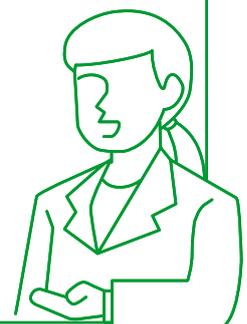
毎年実施している「健康意識調査」では4年連続でパフォーマンス得点*が向上しています。



※心身の不調による損失がない場合のパフォーマンスを100点とした場合の過去4週間の仕事のパフォーマンスに関する自己評価

保健師からのコメント

新型コロナウイルスの感染拡大により、ほとんどの社員の皆さんがテレワークに移行し、子育て中の社員はお子さんの休校や休園による対応、新入社員は例年にないスタートで、戸惑いやストレスがあったかと思います。保健師面接では、テレワークによる弊害として運動不足、体重増加、コミュニケーションの問題が健康課題と感じました。数値からも肥満率や運動習慣者比率も変化しています。健康診断やストレスチェックを実施するだけで終わらずに、今の自分を知ることから行動につながるように保健師面接が活用されたと感じています。メンタルヘルス対策として、匿名での保健師面接も始まりました。社員の皆さんがヘルスリテラシーを高めていけるようにこれからも全力でサポートさせていただきます。



▶ 健康増進の取り組み

自社のヘルスケアサービス『CARADA』を全社に導入し、従業員の健康維持・向上を推進しています。

モバイルやICTによる取り組みだけでなく、社内セミナーの開催や女性の健康を支援する制度など、様々な健康維持・向上の施策に取り組んでいます。



身体の健康

▶ CARADA

過去の健診結果や歩数、コンディション状況を一括管理し、従業員の心と体の健康状態を把握

▶ 運動クラブ

フットサル、ランニングなど10数のクラブが活発に活動。その活動費を会社が支援

▶ エム健

健康に特化した社内ポータルサイトのエム健に運動や食事の内容を記録し、楽しみながら生活習慣の改善



心の健康

▶ メンタルヘルスセミナー

社内で全従業員対象や、管理職向け、新入社員向けのメンタルヘルスセミナーを開催しメンタル不調を予防

▶ ストレスチェック

ストレスチェックを年に2回実施し職場改善活動に活用

▶ メンタルヘルスガイドライン

管理職向けにテレワークにおけるメンタル不調の予防発見のガイドラインを展開



女性の健康

▶ 女性の健康セミナー

女性だけでなく男性や管理職も対象とした女性のカラダ知識講座を開催

▶ 生理痛、PMS

産婦人科受診と低用量ピルの服薬支援制度の実証を実施



新型コロナウイルス感染症 感染拡大防止への取り組み

- ・全従業員を対象にテレワーク、時差出勤の積極的な実施 ・テレワーク実施に伴う自宅環境整備の支援 (テレワーク手当およびテレワーク支援金の支給、イスやモニターなどの備品貸与)
- ・発熱や咳などの症状がみられる場合は自宅待機 ・社内衛生の強化 (アルコール消毒液の設置、ウイルス除去装置の設置、マスクの着用の推奨、うがい・手洗いの推奨)

